

第2回 県立高等学校改革懇談会 『船引・小野』

日時：令和4年10月20日（木）14:00～

場所：船引高等学校 大会議室

福島県教育委員会

本日の内容

1 統合校の方向性について

2 第1回懇談会で頂いた統合校に関する御意見について

3 統合校の教育内容について

1

統合校の方向性について

統合校の概要

船 引 高 校

定員 1 2 0 名
○ 普通科(3 学級)

小 野 高 校

定員 8 0 名
○ 総合学科(2 学級)

令和 8 年 4 月 開校 予定

船引・小野統合高校（仮称）

定員：総合学科 1 6 0 名(4 学級)

場所：船引高校校舎

統合高校の方向性

船引・小野統合高等学校（仮）

総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）を設置することで生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成する学校として、キャリア指導推進校に位置づけます。

- 船引の取組を継承し、自治体や地域企業との連携等によりデュアルシステムを実践するなど、生徒の職業観を育むキャリア教育を充実させます。
- 小野の取組を継承し、地域資源を活用した商品開発に取り組むなど、社会に積極的に関わる教育活動を実践します。

検討する統合校の特色化

主体的・対話的で深い学びの実現 (アクティブラーニング)

- 魅力ある系列（科目群）の設置
- デュアルシステムの実践
- 両地域の自治体や地域企業と連携した地域課題探究型学習
- 丁寧な学習指導及び進路指導

etc.

2

第1回懇談会で頂いた統合校に関する
御意見について

第1回改革懇談会で頂いた統合校に関する意見について

1. 統合校の在り方について
2. 統合校の学びについて

第1回改革懇談会で頂いた統合校に関する意見について

1. 統合校の在り方について

- ① 学校の在り方について、地域住民の意見を反映できる仕組みづくりが必要である。
- ② 田村地区東部、阿武隈高地の子ども達の学びはどうなるのか。

第1回改革懇談会で頂いた統合校に関する意見について

2. 統合校の学びについて

- ① 専門の学科に特定するなど分かりやすくした方が、地域から選ばれる学校となるのではないか。
- ② 地域人材を生かした特色ある教育内容が準備できるかが重要。
- ③ 自己表現力やコミュニケーション能力を身に付けさせるような取組を考えて欲しい。

3

統合校の教育内容について

総合学科の学びについて 〈例として〉

総合学科

個性を生かした主体的な学習・自己の進路志望を深める学習を重視

幅広い選択科目から自分で選択

自分の時間割をつくる

小野高校では、

1年次

「産業社会と人間」

自己の進路志望を深めるために全ての生徒が学ぶ

2、3年次

系列

主な選択科目

文理総合

日本史探究、数学Ⅲ、生物、保育実践

産業技術

作物、生物工学、植物バイオ、総合実習

ビジネス

ビジネス情報、財務会計Ⅰ、マーケティング

福祉教養

社会福祉基礎、介護実習、介護総合演習

「系列」とは、

相互に関連の深い、いくつかの科目をまとめた科目群

統合校の学びについて

現 在	令和 8 年度	カリキュラム
現小学 6 年生→	統合校 1 年生	統合校の新しい カリキュラム
現中学 1 年生→	統合校 2 年生	入学時のカリキュラム 船引・・・普通科
現中学 2 年生→	統合校 3 年生	小野・・・総合学科 (4 系列)

今後の予定

会議等のスケジュール

第3回改革懇談会 令和5年1月19日（木）
場所：小野高校

今後必要となる組織

改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織

- 教育内容検討委員会（両校の教職員で構成される検討委員会）
- ワーキンググループ（各校の校内検討委員会）